

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[15]二硝酸プロピレン</p>	<p>【大気】</p> <pre> graph TD A[大気] --> B[捕集 Sep-Pak PS-AIR 2L/分×24時間] B --> C[溶出 アセトン 5mL] C --> D[濃縮 窒素パーズ 1mLまで] E[内標準添加 p-プロモフルオロベンゼン 100ng] --> D D --> F[GC/MS-SIM-EI] </pre> <p><注>次に示す方法を採用した例もあった。 1:測定機器としてAgilent 6890A/5973を使用した。 2:測定機器としてGCはTrace GC 2000、MSはTrace MSを使用した。 3:測定機器としてGCはGC-17A、MSはQP5050を使用した。</p> <p>「平成18年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p><分析原理> GC/MS-SIM-EI</p> <p><検出下限値> 【大気】 (ng/m³) [15] 2.0</p> <p><分析条件> 機器^{注1 注2 注3} GCMS-QP5050A カラム DB-5 30m×0.32mm、0.25μm</p>